

神戸医療生協支援ニュース

2011年4月 13日 第17号

■現地レポート

<中井>15時過ぎに予定通り無事に坂病院に着いて、今日は訪問がなかったので、タクシーで七ヶ浜を見たりしました。実際に自分の目で見ると、改めて被害の大きさに寒気がしました。宿舎になっている坂クリニックは余震で停電中です。水も断水で、屋上の貯水槽から取っているだけなので、節水のためトイレも坂病院に行っています。先に支援に来ている俵積田看護師さんに宿舎の案内をしてもらい、かなり心強いです。夜、明日行く場所が発表されるらしいです。昨日は診察台をベッド代わりにぐっすり寝てました。今日は午後から俵積田さんと山王公民館の避難所周り、午前と夜が、支援者のための食事作りです。山王公民館は昨日から作った新しい避難所で90人くらいがいらっしゃるらしいです。穀内さんは1日長町病院です。出来ることを頑張ってます。

<中村>本日12日は、朝食を食べているときと、三回目のSA出発直前に大きな揺れを感じましたが、9:15に東京の民医連本部を出発し、途中三回ほど休憩をはさんで、15:15くらいに坂総合病院に無事到着しました。到着してすぐに30分くらいミーティングがあり、避難所は4/21から小学校が再開するため、多賀城文化センターと多賀城市総合体育館、山王公民館の三つに集約されており、合わせて1500人くらいが避難している。他に、塩竈公民館(避難所)と長町病院、宮城野の里(介護が必要な高齢者を収容)へ、坂総合病院から支援に出ている。山王公民館以外の避難所には、OTさんやPTが派遣されていて、マッサージをしながら話を聞いてもらえるので、避難者の方にとっても喜ばれている。文化センターだけは午前・午後でまわるのではなく、午前と夜間(17~19時?)でまわっている。

・支援者が寝泊まりしている診療所の建物は7日の地震で変圧器が故障したため、電気がきておらず、応急的に1~2階のみ非常電源を通してあるので懐中電灯が必須というようなアナウンスがありました。

その後、兵庫(神戸)の四人で、タクシーに乗り、津波の被害が大きかった七ヶ浜地域へ向かいました。

運転手さんの話では、食料やガソリンは普通に供給されており、普段の状態に近づいているが、7日に大きな余震が来たときはガソリンスタンドやスーパーに長い行列ができていた、とのこと。海辺に立つと、穏やかな海が広がっており、何mもの津波が襲ってきたという光景は想像しがたいものではありませんでしたが、現にその背後には惨憺たる光景がひろがっていて、津波の恐ろしさを目の当たりにしました。

明日からやっと支援に入れるので、実質活動できるのは4日間だけですが、精一杯頑張りたいと思います。



第2回 現地支援 報告集会のご案内

とき：4月19日(火) 17時30分~18時50分 協同病院 南館3階

<プログラム>

17時30分~45分→「今、原発事故被災地の避難者に求められる支援は何か？」

齋藤 紀 医師 動画上映

17時45分~18時30分→第6陣支援者 現地支援報告